

おくりがな

なまえ

かん字の下につけて書くかなのことを、「おくりがな」といいます。——の ついた ことばを かん字と かなに なおしましょう。

1

見

① 山^{やま}が みえた。

② 山^{やま}を みよう。

③ 山^{やま}を みたい。

④ 山^{やま}が みえない。

2

立

① ゆかの 上^{うえ}に たつ。

② バスでいって たっている。

③ ゆっくり たちあがる。

④ 足^{あし}が いたくて たてない。

3

言

① 名^なまえを いう。

② うそを いわない。

③ 大^{おお}きな こえで いおう。

④ 先生^{せんせい}が 「やめ。」と いった。

4

書

① きれいな 字^じを かく。

② あわてて かけないこと。

③ かん字^じを かこう。

④ きノウ 手^てがみを かけた。

漢字の下につけて書くかなのことを、送りがなといいます。動詞や形容詞のような活用語は、活用語尾が送りがなになります。例えば、「書」は「書く」「書かない」「書けば」のように、活用する部分が送りがなになります。

——の ついた かん字の 読み方よかたを かきましよう。
また、うすい 字を なぞった あと、□に かん字を かきましよう。

かく
10画

原

はら ゲン

かきじゆん
一 厂 厂 厂
厶 厶 厶 厶
原 原 原 原

- ① ここが モンゴルの
大草原です。
② 原っぱで サッカーを

原	

する。

かく
11画

週

しゅう

かきじゆん
一 冫 冫 冫
冫 冫 冫 冫
周 周 周 周

- ① 今週の そうじょうばん。
② 一週かの じかんわり。

週	

かく
11画

黄

おう き

かきじゆん
一 艹 艹 艹
艹 艹 艹 艹
昔 黄 黄 黄

- ① 黄色の ぼうし。
② 黄色い 花。

黄	

このプリントでは、「原」「週」「黄」を習います。漢字には読み方がいくつかあります。漢字の読み方をできるだけ早く覚えておく
ほうが国語の授業を楽に受けることができます。積極的に読み方を覚えていきましょう。

かん字の下につけて書くかなのことを、「おくりがな」といいます。——の ついた ことばを かん字と かなに なおしましょう。

1 見

- ① 山^{やま}が みえた | 見えた
 - ② 山^{やま}を みよう | 見よう
 - ③ 山^{やま}を みたい | 見たい
 - ④ 山^{やま}が みえない | 見えない
- 2
- かん字は ^じ同じでも ^{おな}おくりがなは、かわって いるよ。

立

- ① ゆかの 上^{うえ}に たつ | 立つ
 - ② バスでいて たって いる | 立っている
 - ③ ゆっくり たちあがる | 立ち
 - ④ 足^{あし}が いたくて たてない | 立てない
- おぼえて おこう。
「ゆうだち」は「タ立」と かく。
○タ立
×タ立ち

3 言

- ① 名^なまえを いう | 言う
- ② うそを いわない | 言わない
- ③ 大^{おお}きな こえで いう | 言おう
- ④ 先生^{せんせい}が 「やめ。」と いった | 言った

4 書

- ① きれいな 字^じを かく | 書く
- ② あわてて かけないこと | 書かない
- ③ かん字^じを かく | 書こう
- ④ きノウ 手^てがみを かけた | 書いた

うごきを あらわす ことばは、よみかたが かわるところから おくりがなを つけるよ。

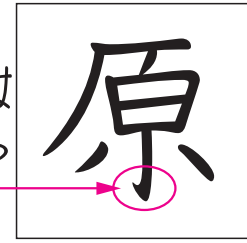
漢字の下につけて書くかなのことを、送りがないいます。動詞や形容詞のような活用語は、活用語尾が送りがないになります。例えば、「書」は「書く」「書かない」「書けば」のように、活用する部分が送りがないになります。

また、
うすい
字を
なぞった
あと、
□に
かん字を
かきましよう。

—の
ついた
かん字の
読み方を
かきましよう。

の 書きじゆん
①一 ②厂

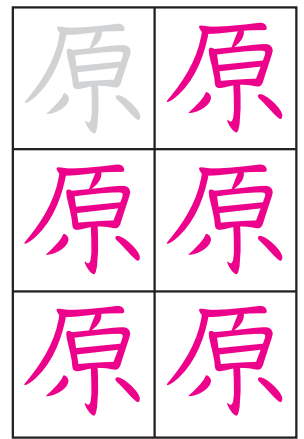
かく 10画



はら はねよう。

かきじゆん
一 厂 厂 厂
原 原 原 原

① ここが モンゴルの
大草原です。
② 原っぱで サッカーを
する。



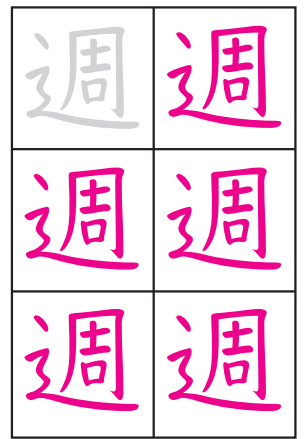
を「しんよう」といいます。
かきじゆんは、①こ ②ま ③まです。
は、3画です。

かく 11画

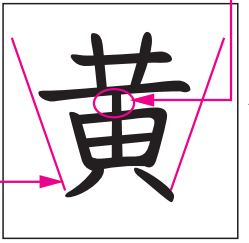


かきじゆん
一 厂 厂 厂
周 周 周 周

① 今週の そうじょうばん。
② 一週間の じかんわり。



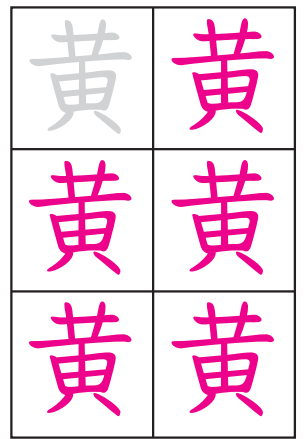
かく 11画 上に 出る!



オウ
せまく
下が せまく
なるように。

かきじゆん
一 一 一
昔 昔 昔
黄 黄 黄

① 黄色の ぼうし。
② 黄色い 花。



このプリントでは、「原」「週」「黄」を習います。漢字には読み方がいくつかあります。漢字の読み方をできるだけ早く覚えておく
ほうが国語の授業を楽に受けることができます。積極的に読み方を覚えていきましょう。